

定例教育委員会会議録

平成26年8月27日

境港市教育委員会（平成26年8月27日委員会会議録）

招集年月日 平成26年8月27日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央
⑥ 遠藤 恵裕

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 門 脇 俊 史
学校教育課補佐 松 原 隆
学校教育課補佐 遠 藤 彰
生涯学習課長 沼 倉 加奈子
教育総務課係長 古 徳 健 雄

傍聴者数 一般1名

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 議案第24号 境港市社会教育委員の委嘱について
議案第25号 境港市図書館協議会委員の任命について

協議事項 その他

報告事項 8月の行事報告、9月の行事予定など

遠藤委員長 定刻になりましたので8月の定例教育委員会を始めます。
議案第24号は境港市社会教育委員の委嘱についてという
ことで、説明をお願いします。

生涯学習課長 15人の社会教育委員の皆さまにつきましては、昨年7
月の定例教育委員会においてご承認いただき、平成25年
7月1日から2カ年の任期をもって委嘱をしているところ
でございます。境港市社会教育委員条例第4条にありま
す方々を推薦しているところではございましたが、充て職
になっている部分も多く、小学校PTA連合会長、境港更
生保護女性会長、小学校校長会、境港市公民館連絡協議会
からの選出につきまして、会長職等の交代をもって社会教
育委員を交代したい旨の申し出がございましたが、届け出
が怠っておりました。大変恐縮ではございますが、南家充
明氏、遠藤恵子氏、酒井伊津子氏、土田良和氏の4人につ
きまして、本年4月1日まで遡り、前任者の残任期間であ
る平成27年6月30日まで委嘱をしたいというもので
ございます。ご承認方よろしくお願いいたします。

遠藤委員長 前任者の残任期間ということでございますが、異論はご
ざいませぬか。(異議なし)では進めてください。社会教
育委員とは具体的にはどういう役割で、実際にどういうこ
とをやっているのか聞かせていただけますか。

生涯学習課長 社会教育委員につきましては、条例にもございますよう
に社会教育に関する諸計画を立案することということで、
策定しております計画の見直しもございます。定期的に会
合を設けておりますが、後で報告いたしますように9月の
下旬に今年度の社会教育委員会を開く予定にしていると
ころでございます。また社会教育に関しまして、学校の教
育課程に行われる教育活動を除くものではございますが、
臨時的な会合を開くこともございます。あるいは、社会教
育の諮問がございましたら、委員から意見を求めるという
ことも必要に応じて行うようにしております。

遠藤委員長 昨年この会に出させてもらいましたが、色々な意見が活発に出ていました。

生涯学習課長 こういった審議会には教育委員の皆さまにもご案内します。傍聴という形になろうかとは思いますが、ご出席いただければと思います。

遠藤委員長 では続きまして、議案第25号境港市図書館協議会委員の任命について、お願いいたします。

生涯学習課長 現在10人の図書館協議会委員の皆さまにつきましては、これは昨年の9月の定例教育委員会においてご承認いただきまして、平成25年10月1日から2年の任期をもって任命しているところであります。そのうち境港総合技術高等学校の校長先生、前任の平野校長先生が今年3月で退官されておられまして、その後4月より安藤順一先生が着任されておられますので、4月1日まで遡り残任期間である平成27年9月30日まで任命いたしたいというものでございます。ご承認方よろしくお願いいたします。

遠藤委員長 残任期間の承認ということですが、よろしいでしょうか。（異議なし）ではこのように進めてください。

次に協議事項とありますが、先に報告事項をやっていきたいと思えます。

学校教育課補佐、生涯学習課長 各報告

遠藤委員長 では協議事項の全国学力・学習状況調査に入りますよう。

※全国学力・学習状況調査について学校教育課補佐より報告

遠藤委員長 マスコミ、新聞報道等でも大きく取り上げられて、分かりやすく焦点を絞った記事を見ました。特にスマホの時間と成績の方がきれいにマッチしており、なるほどと思えました。質問等ございましたらお願いします。

足立委員

計画訪問で中学校におじゃましても頑張っておられるように感じますし、掲示物を見ても生活習慣に取り組んでおられるし、きめ細かくやっておられると感じているところです。これで成績が振るわないというのは、決定的に学習時間が短いということ。生徒の個人差はあるのでしょうけど、学習する時間が少ないというのは、学校はどのように捉えているのでしょうか。

学校教育課補佐

もちろん学校現場も危機感をもって家庭学習時間の確保というあたりでは取り組んでいるのですが、物理的な時間の調整とか塾との兼ね合いとかも含めて、きちんと習慣をつけていくというあたりが大きな課題なのかと思っております。学校の授業の中では理解できても、それを帰って復習したり自学に結びつけたりというところで定着というあたり、また発展的な学習に結びつけていくというのを、しっかりと学校も見取っていく必要があるのかというふうには考えております。

遠藤委員長

この調査は何回目になりますか。

学校教育課補佐

2007年から学テが復活したのですが、悉皆で行ったり、抽出であったりというところです。

遠藤委員長

小学校での取り組みが一つの成果として出てきても良いのではないのでしょうか。中学校に行って、それが積み重なってきてほしい。小中連携と言いますか、中学校校区で取り組んでおられますが、1年2年経つてくると、段々効果も出てくるのではという目で見たい。

永井委員

中学校の予習復習の数値が全国よりも低いということですが、家庭学習の定着については、中学校の時点で完成していてほしい。小学校でも自学というものに取り組んでいることもあるので、塾があるにしても、中学校で学習時間が減っているというのは不思議な気がします。

谷田委員

中学校になると、携帯電話やスマートフォンの所持率が高くなったり、使用時間が多くなったりという結果が出ていますので、そのあたりが成績につながっているのかという気がしています。

佐々木教育長

委員の皆様方に説明したものはごく一部にすぎません。教育委員会事務局で分析したもので説明させていただきます。学校毎の成績一覧表の公表については、市教育委員会としては公表しないという、昨年と同じ取り扱いで思っております。各学校につきましては、10月15日に学校毎の分析表を作りまして、自分の学校、境港市及び全国の平均を併記・比較したものを掲載して、受験した保護者に公表するというございます。そして各学校ではPTAの執行部会、学校評価委員会というものがございますので、そういった場でも公表いたします。全校を並べたものを公表することにはございませませんが、各学校は必要に応じてきちんとした情報を開示していくという姿勢に変わりはありませんので、ご了承いただきたい。

全体の速報値を見ました感想ですが、悉皆になりましてから3年、その前が抽出だったのですが、私がまいりました年に全部やろうということで、全部の小中学校がテストを行っております。それを公表していく方向で進んでまいりまして、各学校は学力向上に向けて取り組んでまいりました。小学校の成果がかなり表れてきているのではないかと感じておりまして、国語Aの全体77.9%という数字は、第1位の秋田県の77.4%を上回っております。

全国平均を基準にして、上3%をB、それ以上をA、下3%をC、それ以下をDとしております。これは各学校が分析表を作りますときにもこれを活用する予定でございます。B又はCぐらいであれば平均の周囲ということで及第点であろう。すべての学校が、すべての点で平均を上回るのを目標にはしますけれども、非常に難しいことです。ただDということになりますと、かなり課題が多い。そして中学校を見ますとDという評価が多い。これにつきまし

ては、小学校からの積み上げが中学校でさらにということ
でございますので、本年はこういう状況でございましたが、
来年再来年に向けてさらに努力をしていかなければなら
ない。それから、これは国語と算数、数学だけなのです。
他の教科も勉強している訳ですから、国語と算数だけがで
きればいいのかという問題もございます。小学校において
は、この全国学力・学習状況調査について、全部の教師が
スクラムを組んで、国語と算数の指導を工夫しています。
中学校に入りますと、国語は国語の教師、数学は数学の教
師同士、これが本当に学校のものとなって、学力というも
のに対して他の教科も併せて、私達の中学校の学力を高め
ていこうという学校の体制ができあがって、その中での国
語と数学ということになっていかないと、本当の学力には
ならないと思っておりますので、中学校にはさらに調査結
果を分析していただいて、他教科も一緒になって学力向上
に向かっていたきたいという具合に、今度の校長会では
話しをしたいと思っております。各学校には、分析表の中
に具体的な取り組みがあり、小中9年間を通して学力を育
てる、その基盤となる小学校がだいぶ固まってきたなとい
う感触を持っているところでございます。

遠藤委員長

この点数だけにこだわる訳ではないですが、学校全体と
して取り組んだ分だけは成果として出てきているのでは
ないかと思えます。中学校でどう結びつけるのか、中学校
校区でお互いのものを共有していくのかということ、特
に中学校の方は全体的に把握すべきかと思えます。点数に
一喜一憂することなく、学校は自信を持って進めていただ
きたいと思えます。この件についてはよろしいでしょうか。

地教行法についての資料もいただいておりますが、特に
変わった状況ではないのですね。

佐々木教育長

総合教育会議は、教育委員会が招集するのではなく、市
長が教育委員さん方を招集いたしまして、教育全般に対す
る境港市の大綱を決めていく。その大綱に絶対に従わなけ
ればならないという類のものではございません。意見をし

っかり出していただきまして、協議・調整をして柱を決める。そして細部にわたっては教育委員会が執行機関でございますので、教育委員会で話し合い、執行をしていくということでございます。

遠藤委員長

それでは、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。